

9. 防災・環境・レジリエンス

災害に強く持続可能なまちづくり

POINT 1

温室効果ガス排出量は減少傾向にありますが、2020年度以降減少幅が鈍化しています。

POINT 2

再生可能エネルギー発電量の割合は、基準年度（2013年度）と比較すると約2倍に増加しました。これらは大規模太陽光発電施設による発電量増加によるところが大きくなっています。

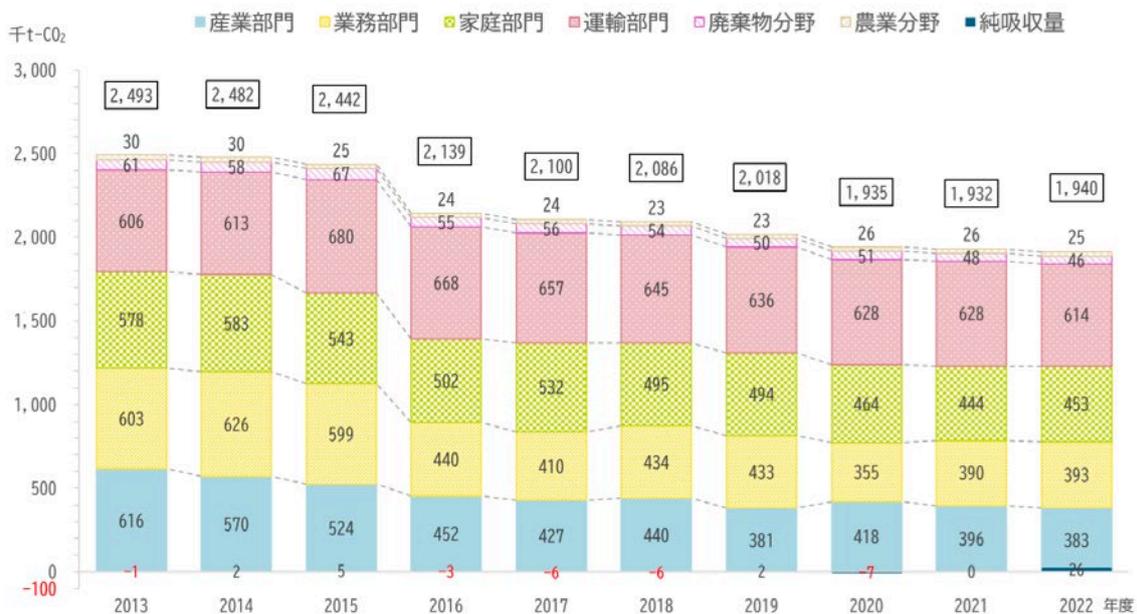
POINT 3

救急出動件数のうち、急病及び一般負傷による出動は増加傾向にあります。

PICK-UP
代表的なグラフ

※レジリエンス・・・「弾力（性）」「はね返り」「回復」などを意味する言葉で、状況の変化に応じて適応・転換しながら回復する能力のこと。

温室効果ガス排出量

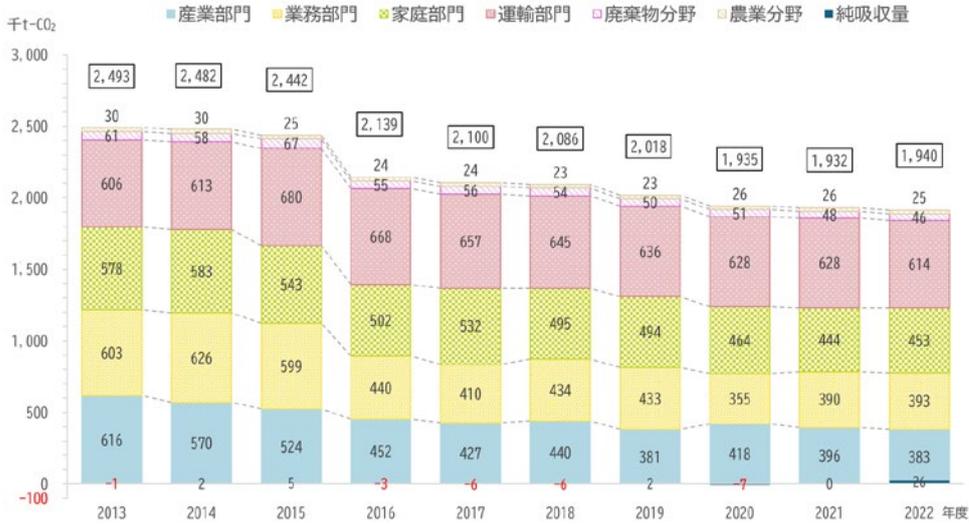


153

温室効果ガス排出量

theme
防災・環境・レジリエンス

基準年度(2013年度)と比較すると、全体の温室効果ガス実質排出量は減少傾向にあります。各部門とも2020年度以降減少幅が鈍化しています。運輸部門の温室効果ガス排出量は基準年度以降横ばいとなっています。



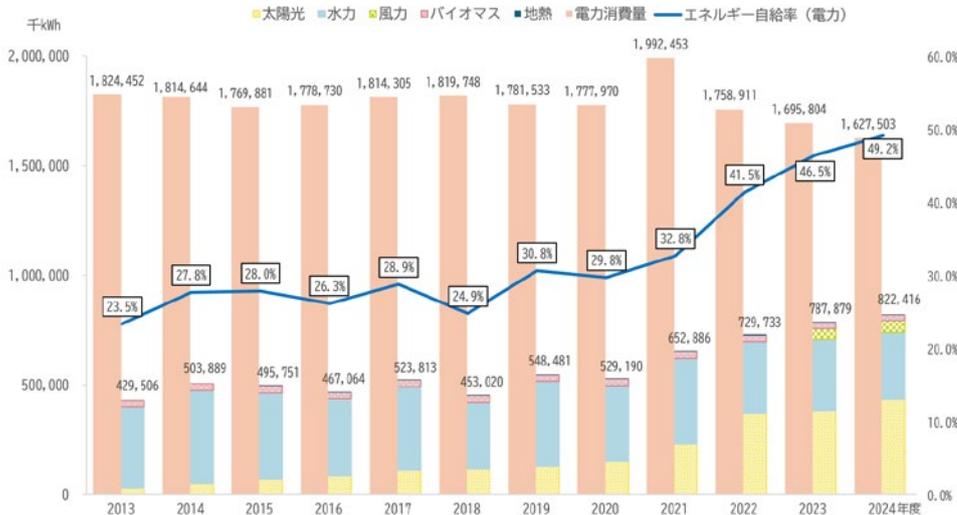
資料：環境省「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（算定手法編）」に基づき作成

154

市内電力消費量と再生可能エネルギー発電量の推移の比較

theme
防災・環境・レジリエンス

電力消費量に対する再生可能エネルギー発電量の割合は約半分を占め、基準年度(2013年度)と比較すると約2倍に増加しました。これらは大規模太陽光発電施設による発電量の増加が大きく関係しています。



資料：環境政策課

155

気象概況（降水量・気温）

theme
防災・環境・レジリエンス

気温は緩やかに上昇傾向にあり、降水量は年ごとの変動が大きくなっています。

●気象概況（降水量・気温）



資料：気象庁

156

火災発生件数と死傷者数

theme
防災・環境・レジリエンス

出火件数はおおむね減少傾向にあり、死者及び負傷者数については一定の割合で推移しています。



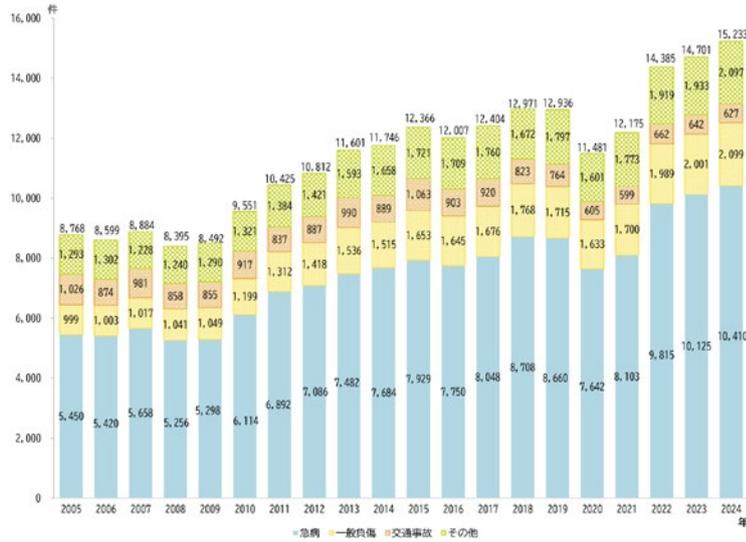
資料：消防年報

157

救急出動件数と事故種別

theme
防災・環境・
レジリエンス

救急出動件数のうち、急病及び一般負傷による出動は増加傾向にあり、将来の人口は減少が見込まれるものの、高齢化が進むことにより救急件数は2035年まで増え続けることが予想されます。



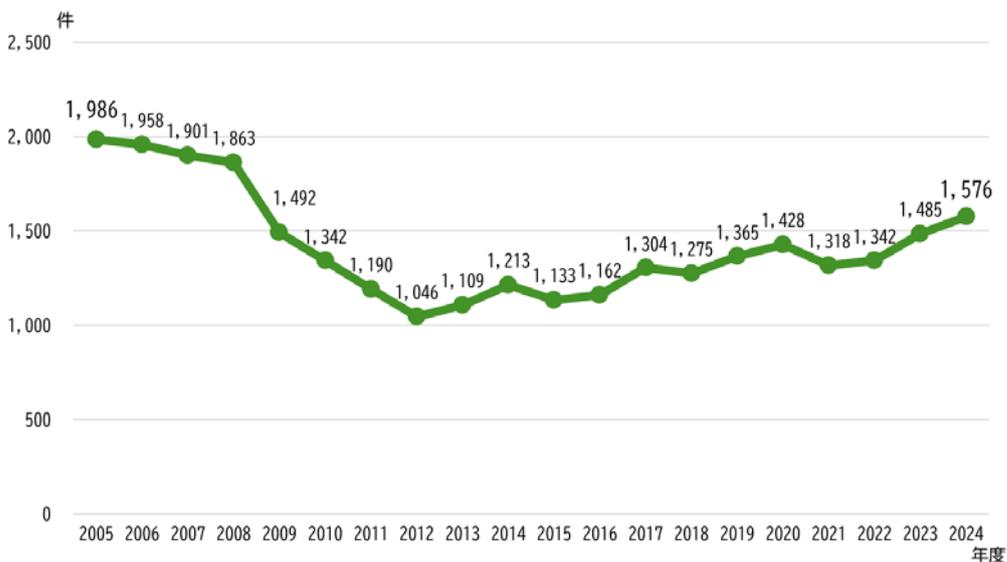
資料：消防年報

158

消費生活相談件数

theme
防災・環境・
レジリエンス

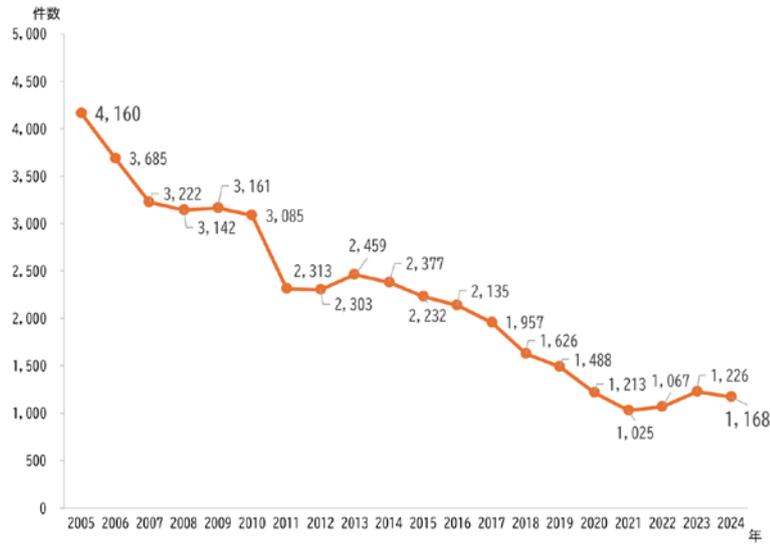
2004年度に消費生活センターが開所してから減少傾向でしたが、2012年度以降は増加傾向にあります。



資料：ふくしまの消費者行政
基準日：各年4月1日現在

刑法犯認知件数

刑法犯認知件数は 20 年前の 1/4 程度に減少しています。



資料：生活課、福島警察署、福島北警察署
基準日：1月1日現在